

国宝 東塔 大修理落慶記念



大修理落慶記念



薬師寺展

National Treasure Toto Restoration Completion Commemoration:
Treasures of Yakushiji Temple

薬師寺の寺宝が一堂に

2月28日(金)——4月19日(日)

[開館時間] 火～金／10時～20時、月土日祝／10時～18時※入館は閉館の30分前まで
[休館日] 3月2日(月)、23日(月)※会期中一部作品の展示替えがあります。

[主催] 法相宗大本山薬師寺、あべのハルカス美術館、読売新聞社、

NHK大阪放送局、NHKラジオ第2放送

[国宝]
東塔水腹の
透彫天人像

[国門]
聖観音菩薩立像

[重要文化財]
四天王立像
(持国天立像)
(增长天立像)

[重要文化財]
四天王立像
(增长天立像)
(持國天立像)

[国宝]
東塔水腹の
透彫天人像

[国門]
聖観音菩薩立像

[重要文化財]
四天王立像
(持国天立像)
(增长天立像)

[重要文化財]
四天王立像
(增长天立像)
(持國天立像)

あべのハルカス美術館
ABENO HARUKAS ART MUSEUM



薬師寺展

National Treasure Toto Restoration
Completion Commemoration:
Treasures of Yakushiji Temple

[国宝]
慈恩大師像
(平安時代)

玄奘三歳の
弟子で法相宗の開祖。

堂々たる偉丈夫であったと
伝える慈恩大師の
容姿を彷彿させる、
平安肖像画の代表作。

薬師寺に伝わる法相宗の教え
は20年近くインドを旅した
ともに中国に伝えられ、慈恩
大師により大成されました。
また、玄奘がインドで得た舍
利の一部は道昭を通じて行基
に譲られ、行基は薬師寺東塔
の中心に安置したと伝えま
す。今回東塔心柱の頂部から
発見された仏舍利は、改めて
東塔に納められました。

薬師寺は、西暦680年天武天
皇が皇后(後の持統天皇)の病気
平癒を祈願して伽藍建立を發
願したことになります。薬師
寺で唯一創建当初の姿を伝え、
「凍れる音楽」と親しまれてきた
東塔は、2009年から本格的な
解体修理が行われ、2020
年4月に落慶法要を迎えます。
それを記念して東塔にまつわ
る宝物、東塔の部材を中心に、創
建以来伝えられてきた寺宝、法
相教学に関する文化財などに
より、薬師寺の歴史と文化をご紹
介します。



玄奘三歳― 慈恩大師― 行基菩薩 法相教學と 舍利の伝来

玄奘三歳坐像
(鎌倉時代)

西遊記の
三藏法師の
モデル。

東塔に納められた仏舍利は
玄奘がインドから
持ち帰った仏舍利の
一部と伝わる。



東塔舍利容器 拡(現代)

正面を見つめてすくと立つ、
爽やかな貴公子と思われる
古典彫刻の白眉。

薬師寺は、遣唐使等によつてもたらされた信
仰、文化、技術の精華を
今まで伝えていま
す。聖観音菩薩立像は
金堂の薬師三尊像とともに当時の華やかで国
際的な交流を伝えています。

聖觀音菩薩立像



東塔・西塔

薬師寺は東西両塔が並び立ち、両塔の初層には釈迦八相の塑造群像が安置されていましたが、西塔は室町時代に失われ、1981年に再建されました。東塔は薬師寺伽藍で唯一創建当初の姿を今日まで伝えてきましたが、今回の本格的な修理で、建立

姿を今日まで伝えてきた東塔

以降東塔の頂部を飾ってきた水煙や薬師寺の由緒を記した檫管は地上に降ろされました。創建当初、東西両塔の初層に安置されていた釈迦八相群像の残欠、今回の修理で取り換えた古材、東西両塔に安置されている二組の四天王立像など、貴重な文化財が塔のたどった歴史を伝えています。

薬師寺伽藍で唯一創建当初の姿を今日まで伝えてきた東塔

これまでに登場する四天王像は、東塔を守護する四天王像。

東塔を守護する
四天王像。

睨みつけるだけで
外敵を圧倒するような
威厳のある武将たち。

四天王立像
(平安時代)



薬師寺に伝わっていた二体の天部像と破損し
保管されていた部材から、
当初の姿に蘇った
千年前の
四天王像。

吉祥天女像

神護景雲元年（767）吉祥悔過の法要を諸国分寺で行うよう勅が下され、他の大寺にも広がります。藥師寺で吉祥悔過が始まった宝龜年間（770～780）に描かれたとされる吉祥天女像は、唐代の女性像の影響を受け、当時の国際的な文化の豊かな広がりを示す天平絵画の至宝です。

関連イベント

オープニング記念講演会 「白鳳の美への誘い」

2月28日（金）／14:00～15:30
講師：加藤朝胤師（薬師寺管主）

記念講演会 「東塔仏舎利と玄奘三蔵」

3月8日（日）／14:00～15:30
講師：大谷徹奘師（薬師寺執事長）
会場：あべのハルカス25階 会議室
(17階からエレベーターにお乗りください。)

定員：150名（先着順）
参加費：無料 ※別途本展観覧券が必要です。
当日13:30から、あべのハルカス25階にて受付。

ハルカス大学連携講座 「薬師寺東塔1300年の祈り」

3月1日（日）／14:00～15:30
講師：生駒基達師（薬師寺副住職）

「薬師寺展を観じる」

3月20日（金・祝）／14:00～15:30
講師：安田英基師（薬師寺執事）
会場：あべのハルカス23階セミナールーム
(セミナールームへは、17階からエレベーターにお乗りください。)

定員：各回80名（事前申込制 先着順）
参加費：無料 ※別途本展観覧券が必要です。

お申込み：ハルカス大学webサイト(<http://harudai.jp/>)、お電話(06-6622-4815)、もしくはハルカス大学受付（あべのハルカス23階キャンパスフロア）にて承ります。

ギャラリー・ツアー

毎日（3月25日～31日を除く）

11:00～、14:00～、17:00～（約30分）

※都合により開催できない場合があります。

講師：薬師寺僧侶 会場：展示室

参加費：無料 ※別途本展観覧券が必要です。（半券不可）

吉祥天・つまみ細工講座

国宝〈吉祥天女像〉がついているかんざしの小花のようなモチーフをつまみ細工で作ります。

3月15日（日）／1回目：13:00～14:15

2回目：14:30～15:45

講師：糸井麻氏（文楽人形花飾師）

会場：ハルカス25階会議室

定員：各回15名（事前申込制 先着順）

※本講座に参加希望の方は以下のチケットをお買い求めください。

お買い求めのときに参加希望の回をご指定ください。

吉祥天・つまみ細工講座セット前売券

一般 | 3,000円（税込）

薬師寺展+吉祥天のお花のかんざしモチーフを作るつまみ細工講座

販売期間：12月26日（木）～2020年2月27日（木）

販売場所：ローソンチケット

音声ガイド	貸出価格	
松下奈緒さん	600円（税込）	

観覧料（税込）	当日	前売・団体
一般	1,400円	1,200円
大高生	1,000円	800円
中小生	500円	300円

※団体は15名様以上。※前売券は2019年12月26日（木）から2020年2月27日（木）まで販売。隠かい者手帳をお持ちの方は、美術館チケットカウンターでご購入されたご本人と付き添いの1名様まで当日料金の半額。

チケット販売所：あべのハルカス美術館ミュージアムショップ（美術館開館日のみ）、近鉄駅営業所、セブンチケット、チケットぴあのPコード:992-459)、ローソンチケット(Lコード:57524)、ファミリーマート、イープラス、CNフレイガイド、近畿日本ツーリストグループの店舗（一部店舗を除く）など

薬師寺展オリジナルキーホルダーセット前売券

一般 | 2,200円（税込）

薬師寺展+グッズ引換券（オリジナルキーホルダー）

本展の観覧券と、薬師寺東塔水煙に描かれている天人をモチーフにしたキーホルダーの引換券がセットになった前売券です。

販売期間：12月26日（木）～2020年2月27日（木）

販売場所：セブンチケット、チケットぴあの

ローソンチケット、イープラス

※本展観覧券とグッズ引換券が別々に発券されます。両方をお持ちください。※グッズは展覧会期中、あべのハルカス美術館のミュージアムショップにてお引換えください。※グッズは会場のミュージアムショップでも販売する予定です。



薬師寺関連番組

NHK・総合「歴史秘話ヒストリア」

3月4日（水）22:30～23:20（予定）

【国宝】吉祥天女像
奈良時代
千二百数十年にわたり、人々の懺悔を聞き届け、福德をもたらしてきた天女像。

ふくよかな容姿は天平美人を代表する。

近鉄「大阪阿部野橋駅」、JR「地下鉄「天王寺駅」、
阪堺上町線「天王寺駅前駅」下車すぐ。

※駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。

※あべのハルカス美術館へは、シャトルエレベーター

【乗り口】地下1階または2階をご利用ください。

〒545-6016 大阪市阿倍野区阿倍野筋1-1-43

あべのハルカス16階

お問い合わせ 06-4399-9050

美術館公式HP <https://www.aham.jp/>



あべのハルカス美術館
ABENO HARUKAS ART MUSEUM

